

## みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	大崎不登校を考える会	
代表者名	高橋 雅道	
連絡先 TEL : 090-8561-4257 FAX :	E-mail osakiforchildren@gmail.com	

## 1、助成事業報告

助成を受けた事業名	不登校を考える親の会
事業の目的	<p>不登校の問題が大きく取り上げられる昨今、全国で16万人もの児童・生徒が不登校の状態になり、学校に行けずに悩み苦しんでいます。</p> <p>特に宮城県は、全国でも不登校の児童・生徒数が全国上位であり、その数は5,000人を超えます。</p> <p>子どもが不登校になると、その本人が自己肯定感をなくし自宅に引きこもりがちになるだけでなく、その家族も原因が分からないまま周囲にも相談できず、苦しんでしまう状態に陥るケースが多くみられます。</p> <p>宮城県の北部に位置する大崎市で、「不登校」という問題を取り上げ、学校や家庭、教育機関などの枠にとらわれず、多くの人でこの問題を考え、ともに前に進むことで、不登校の子どもをもつ保護者の方々の悩みを共有できる場をつくるべく【不登校を考える親の会】の事業を企画しました。</p>
事業の具体的内容	<p>大崎市内の公共施設にて、ほぼ月に一回のペースで会を開催する。</p> <p>時間は3時間。前半は実際に不登校に関する活動をしている方、不登校の当事者やその保護者を講師としてお迎えし講演会を開催。後半は円卓を囲み、座談会を開催。参加された保護者から子どもの不登校に関する悩みを伺いながら、問題について話し合ったり考えたりすることで知識・見分を深めていく。</p>
活動の開始から完了までの流れ	<p>2020年度の開催日時と場所は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月14日（日）大崎市図書館</li> <li>・5月18日（土）大崎生涯学習センター</li> <li>・6月16日（日）大崎市図書館</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月 24日（土）大崎生涯学習センター</li> <li>・ 9月 29日（日）岩出山公民館</li> <li>・ 10月 27日（日）大崎生涯学習センター</li> <li>・ 11月 17日（日）大崎生涯学習センター</li> <li>・ 1月 26日（日）大崎市図書館</li> </ul> <p>※3月 8日（日）大崎生涯学習センターについては、新型コロナウイルスによる影響を鑑み、講演会・座談会は中止。来場者への個別対応の形式に変更した。</p> <p>各会の開催ごとに大崎市教育委員会の後援を申請し、周知のためのチラシ・ポスターを作成・印刷。それらが大崎市内の公共施設や市役所及び総合支所、公民館、市内の小・中学校、その他関係機関に配布・設置を行った。</p> <p>また、大崎不登校を考える会のSNSも開設し、広く活動内容や会の周知を行った。</p> <p>新聞社等の報道機関へも取材依頼を行い、河北新報・大崎タイムスに会の事前告知や当日の取材を受け、親の会の周知や不登校問題の提起等を行った。</p> <p>参加者の中で、不登校の子どもをもつ保護者へは会の開催後に個別に連絡をとり、以後の会の参加の促しや相談などを行い、つながりが途切れないように努めた。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>&lt;活動の成果&gt;</p> <p>■計 9 回の開催と参加延べ人数 141 名      本会が開催する以前に大崎市内に主だった不登校に関するイベントがなかったことを考えると、大崎市で不登校問題を提起するための話し合いの場を設け、これだけの参加者が集まった意義は大きい。</p> <p>■リピーター参加率 46%      延べ参加者数のうち、46%が 2 回以上の参加者である。これは参加者より満足と信頼をいただいたことの成果ととらえる。リピーターが増えることで、会を重ねるごとに結束感と一体感が生まれ、前向きな雰囲気が進めることができた。</p> <p>■当事者の親の参加のべ人数 43 名      （リピーターを含む）親の参加人数が 43 名となり、子どもの不登校で悩む保護者の方々とつながり、悩みを共有することができた。</p> <p>初参加の際は、表情も暗く元気がない方が多かったが、会が終わるころには明るく元気になって会場を後にする様子が見られた。</p> <p>さらに、会を追うごとに参加者の親同士の結束が固くなり、親だけのお茶会や交流会など悩みを話せる場を自主的につくる活動が見られた。</p>

	<p>不登校問題の1つとして、誰にも相談できず一人で悩みを抱えてしまう保護者が多いことを踏まえると、この成果は大変意義のあることと捉える。</p> <p>&lt;教訓&gt;</p> <p>■参加者の親が悩みを話せる雰囲気づくり 会を重ねるごとに講演会や座談会の参加者数が増加し（2020年1月26日開催時は参加者数が39名、うち座談会参加者は15名）、しばしば親が悩みを話しにくい雰囲気になることも見られた。</p> <p>■親の会を必要とする人たちに情報が届かない 1年間の親の会の開催で、のべ141人もの方々にご参加いただいたが、まだ大崎市内で親の会を必要としている人たちに情報が届いていない現状を感じた。</p>
今後の展望など	<p>以上の教訓も踏まえ、2020年度は以下の取り組みを行う。</p> <p>■少人数制の親の会の開催 参加人数10名以下の親限定の会を多く開催する。 日程をほぼ毎月第3日曜日と固定することで、開催日を覚えやすくする。また通年で会の周知を行えるため、今まで以上に周知エリアを増やすことができる。</p> <p>■不登校活動の有識者による講演会 2020年度も引き続き講演会形式の親の会も開催する。 全国規模で不登校に関する活動をしている講師をお迎えし、大崎市周辺において広く不登校問題を取り上げる。</p> <p>■フリースクールの開設 2020年4月、大崎市岩出山にてフリースクールを開設し、不登校の児童・生徒の安心する居場所づくりを開始する。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	140,000	
寄付金	18,635	
合計	158,635	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
講師講演料	講師講演料	100,000	50,000
会場レンタル料	会場レンタル料	10,000	12,460
広報用チラシ印刷代	広報用チラシ印刷代	30,000	43,177
参加者お茶代	参加者お茶代	18,000	11,753
備品代	備品代	5,000	6,882
合計		163,000	124,272

# 不登校を考える 親の会

『不登校を振り返って今だから見えること』  
～つながることの大切さ～

「不登校を考える親の会」は同じ立場の親たちが、互いに交流しながら、子供の不登校について理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になれます。また、他の親の話を聞くことで参考になることがたくさんあります。

参加料  
**無料**

〔日時〕 4月14日(日) PM13:30～PM16:30

〔会場〕 大崎市図書館 研修室1・2(JR古川駅より徒歩10分)  
無料駐車場あります

〔特別講演〕 ほっとスペースわか代表 佐藤和枝 氏

子ども2人が小中学校の頃に不登校。当事者だった経験をもとに、2017年登米市の不登校を考える会「ほっとスペースわか」に加わり、現在は代表を務める。不登校の子どもや家族が安心して暮らせる地域社会を作ることを目指して活動している。

一般社団法人「産業カウンセラー」

一般社団法人「生涯学習開発財団認定アートワークセラピスト」



オープニング 13:30～13:50 「不登校の現状」と「大崎不登校を考える会の紹介」

第1部 13:50～14:30 特別講演『不登校を振り返って今だから見えること』～つながることの大切さ～

第2部 14:50～16:30 座談会

お申込み・お問い合わせは…

■主催「大崎 不登校を考える会」

TEL : 090-8561-4267 (担当 : 高橋)

E-mail : osakiforchildren@gmail.com

facebook, twitterは「大崎不登校を考える会」で検索

■後援 大崎市教育委員会

■不登校を考える親の会は、『みやぎ生協福祉活動助成金』の助成により運営されています。



代表の高橋雅道です。

不登校で悩んでいる大崎の子どもたちの力になりたいと、フリースペース設立に向けて活動しています。ぜひ親の会に参加し、みなさんの声を聞かせてください。

# 不登校を考える 親の会

「不登校を考える親の会」は同じ立場の親たちが、互いに交流しながら、子供の不登校について理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になれます。また、他の親の話聞くことで参考になることがたくさんあります。

5月18日 土 13:30-16:30

パレットおおさき（大崎生涯学習センター）

宮城県大崎市古川穂波三丁目4番20号

（大崎市民病院となり）※無料駐車場あります

## 「Sakura Magic ～田尻さくら高の実践」

特別  
講演

講師：須藤尚（宮城県田尻さくら高等学校 校長）

宮城県田尻さくら高等学校校長。前職は宮城県総合教育センター教育相談班長として宮城県の喫緊の課題である不登校問題の改善に取り組む。山形県天童市出身、現在は仙台市泉区在住。



オープニング 13:30～13:50 「不登校の現状」と「大崎不登校を考える会の紹介」

第1部 13:50～14:30 特別講演『Sakura Magic ～田尻さくら高の実践』

第2部 14:50～16:30 座談会

お申込み・お問い合わせは…

### ■主催 「大崎 不登校を考える会」

TEL：090-8561-4267 担当：高橋

E-mail：osakiforchildren@gmail.com

facebook, twitterは「大崎不登校を考える会」で検索

### ■後援 大崎市教育委員会

■不登校を考える親の会は、『みやぎ生協福祉活動助成金』の助成により運営されています。



代表の高橋雅道です。

不登校で悩んでいる大崎の子どもたちの力になりたいと、フリースペース設立に向けて活動しています。ぜひ親の会に参加し、みなさんの声を聞かせてください。

# 不登校を考える 親の会

「不登校を考える親の会」は同じ立場の親たちが、互いに交流しながら、子供の不登校について理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になれます。また、他の親の話を聞くことで参考になることがたくさんあります。

子どもスペース  
同時開設

会の開催時間中に、子どもの居場所スペースを設けます。学校に行きづらさを感じているお子さまがいらっしゃいましたら、ぜひご一緒にお越しください。

期間限定  
フリースペース開設

8月下旬～9月上旬にかけて、大崎市岩出山にてフリースペースを開設します。詳細は、下記アドレスまでお問合せください。

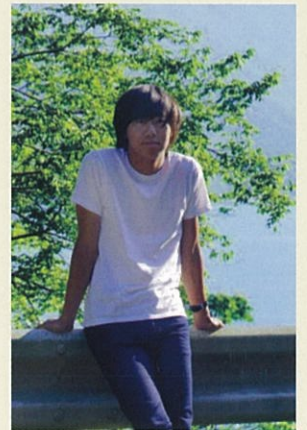
【特別講演】 ～夢をあきらめないで～

『不登校から鉄道写真家になったこと』

【講師】 むかわ けんた  
武川 健太 氏

鉄道写真家。宮城県登米市出身。

中学不登校・ひきこもり・震災後、被災地をめぐり、鉄道写真家として活動中。大崎市内に居場所スペースを設けたいと希望する親の会に参加し、みなさんの声を聞かせてください。



8月24日（土）午後1時30分～4時30分

会場：パレットおおさき（大崎生涯学習センター）  
（宮城県大崎市古川穂波三丁目4番20号 大崎市民病院となり 無料駐車場有）

お申込み・お問い合わせは・・・

■主催「大崎 不登校を考える会」

TEL：090-8561-4267（担当：高橋）

E-mail：osakiforchildren@gmail.com

■後援 大崎市教育委員会

■本会は「ふるやぎ生活福祉活動助成会」の助成により運営されています。



代表の高橋雅道です。

不登校で悩んでいる大崎の子どもたちの力になりたく、フリースペース設立に向けて活動しています。ぜひ親の会に参加し、みなさんの声を聞かせてください。

# 不登校を考える 親の会

【不登校を考える親の会】は同じ立場の親たちが、互いに交流しながら、子供の不登校について理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になれます。また、他の親の話を聞くことで参考になることがたくさんあります。

**6月16日（日）午後1時30分～4時30分**

**会場：大崎市図書館 2F研修室** (JR古川駅より徒歩10分 無料駐車場有)

オープニング 13:30～13:50 【不登校の現状】と【大崎不登校を考える会の紹介】

第1部 13:50～14:30 特別講演 一人ひとり生まれた意味がある～子どもの立場として伝えられること～

第2部 14:50～16:30 座談会



## 【特別講演】

一人ひとり生まれた意味がある

～子どもの立場として伝えられること～

【講師】 <sup>ちば</sup> <sup>ももか</sup>  
千葉 百華 氏

1996年岩手県奥州市生まれ。宮城教育大学卒業後、宮城県大崎市岩出山池月在住。

3歳で親が離婚。小中時代にDVや虐待を受けた経験がある。放課後、一人で過ごすことが多くなり、学校に行きたくないと感じた。大学で『明くる生』という小説を書き、教育現場で働くことに興味を持った。現在は『明くる生』を基にした小説『明くる生』を執筆中。また、『明くる生』の舞台化にも関わっている。

その一方で、教育現場でも活躍している。現在は、『明くる生』の舞台化にも関わっている。また、『明くる生』の舞台化にも関わっている。

企業研修の講師としても活躍している。現在は、『明くる生』の舞台化にも関わっている。また、『明くる生』の舞台化にも関わっている。

お申込み・お問い合わせは...

## ■主催【大崎不登校を考える会】

TEL 090-8561-4267 (担当 高橋)

E-mail osakiforchildren@gmail.com

facebook, twitterは【大崎不登校を考える会】で検索

## ■後援 大崎市教育委員会

■不登校を考える親の会は、【みやぎ生協福祉活動助成金】の助成により運営されています。



代表の高橋雅道です。

不登校で悩んでいる大崎の子どもたちの力になりたいと、フリースペース設立に向けて活動しています。ぜひ親の会に参加し、みなさんの声を聞かせてください。



# 子にとって「安心感大切」

不登校を考  
える親の会 経験者の武川さん講演

子どもの不登校について理解を深める「第6回不登校を考える親の会」（高橋雅道代表）が24日、大崎市古川の「大崎生涯学習センター・パレットおおさき」で開かれ、自身も不登校を経験し、現在は鉄

5点を失ってリードを許したが、五回に逆転し、追いつかれた七回には3点を勝ち越した。迫桜は築館を上回る13安打を放ったが、あと一歩及ばなかった。

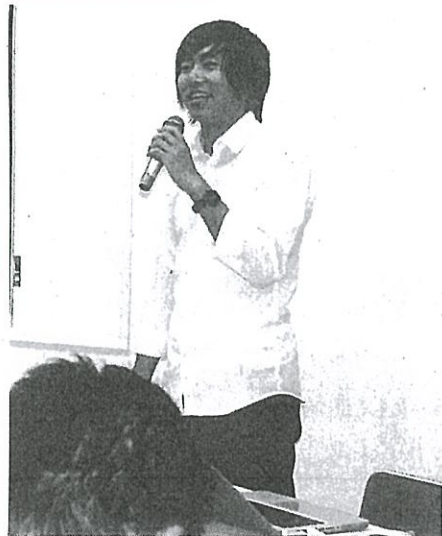
古川は2-7で利府に敗北。初回に先制したが、四回に4点を失って逆転を許した。昨秋は敗者復活戦から東

健康について考えた女性セミナー

ストレスは健康の大敵。楽しみながら料理や食を味わって」と呼

菅原礼、秋元（迫）千

講演する武川さん



のときフリースクールで出会った先生の勧めをきっかけに鉄道写真家を志した。

講演会では、不登校だった1年間を振り返って「罪悪感を感じ、ずっと悩んでいた」と吐露。子どもたちが立ち直るには「安心感が一番大切」と話し、不登校の子どもたちが「素の自分が出せる場所をつくってあげる」とが大切」と訴えた。

参加者たちは武川さんの話をメモなどを取りながら熱心に聞き、「不登校」という言葉がよくない」という意見にとうとう姿が見られた。

講演後は、希望者同士で座談会も実施。同じ悩みを持つ親同士が意見を語り合った。次回は9月29日、大崎市岩出山文化会館（スコールハウス）で開催予定。

和を祈念する。定員300人。

問い合わせは市社会福祉課地域福祉係へ。電話0229（23）6012。

## 登米で震度3

24日午後の地震

24日午後1時53分ごろ、福島県沖を震源とする地震があり、東日本

の広い範囲で揺れを観測した。気象庁によると、震源の深さはごく浅く、地震の規模を示すマグニチュードは5.5と推定。県北部の震度は次の通り。

▽震度3 登米市▽震度2 大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町、栗原市、大衡村▽震度1 富谷市、大和町、大郷町

ら、大崎市古川福沼の吉野作造記念館で開かれる。プログラムは2部構成。第一部は「吉野作造」の世界を名曲でつなぐ」がテーマ。大

マに、パワーコーラスの「Happybre」の「Cheers」や「Natsu☆P」が歌声を披露する。出演者全員による合同演奏も行われる。

野作造記念館

# 令和へコンサート

野作造記念館

ら、大崎市古川福沼の吉野作造記念館で開かれる。

プログラムは2部構成。第一部は「吉野作造」の世界を名曲でつなぐ」がテーマ。大

白松がモナカ本舗  
仙台工場 札幌工場

花山椒 海老 鮭節 宗田節 飛魚節 真鱈干  
寛マル寛

配達 ¥4,500 (税込)  
¥3,000 (税込)  
3-6297  
MILK HALL

観覧自由 入場無料  
夢・カラオケを楽しむ集い & 追分慕情カラオケ大会  
日時：令和元年9月5日(木) 午前10時開演  
場所：田尻沼部 (JA新みやぎ) イベントホール

御宴会、御会合、御法要後の会食に  
さんわのおまかせ料理  
お昼の会食 (昼めし付) お一人様 2,500円より  
夜のご宴会 お一人様 3,000円より  
味処 さんわ  
TEL.0229-22-0666 0120-308354

正一位 斗笠稲荷神社  
HP開設致しました。是非ご覧下さい。  
URL http://inarijinja.org/ E-mail wfox@inarijinja.org

佐々木会長(右)から賞状を受け取る入賞者たち

が見られた。年賀配達  
の引き受けは12月15日

R、電子メールの普及  
などで年賀状を出す人

枚数は2億5000万  
枚。来夏に開催される

# 「ココロの声に耳を」川

## 不登校を考える会 心理カウンセラー講演 古

大崎市にフリースペース設立を目指す市民グループ「大崎不登校を考える会」(高橋雅道代表)の第8回不登校を考える親の会が10月27日、大崎生涯学習センター・パレットおおさきで開かれた。

この日は、心理カウンセラーの檀崎たつみさん(多賀城市)が「子どもたちのココロの声」教室に入れない子どもたちとの関わりからみてきたことと題して講演したほか、希望者による座談会を実施した。檀崎さんは、公立中学校の心のケア支援員や自死予防連携団体の専属カウンセラーなどを務め、不登校

やいじめ、家族問題などに関わる相談や支援を行っている。学校やフリースクールなどで多くの不登校児童生徒に関わっている檀崎さんは、さまざま家庭の事情により不登校になった子どもたちの事例を紹介。その上で、子どもたちと関わる中で「子どもたちの気持ち(声)が置

講演する檀崎さん



きまりにされている」と主張。「子どもが不登校になると、保護者は『責められる』『世間はどう見られるか』『学校は『保護者への対応は』『学年会議で話そうか』などと、大人は『どうしよう』と自分のことしか見えない状態」と指摘し、「子どもが何を考えているのか、どういう状況か

をまずは見てほしい」と強調した。参加者たちは、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。講演に先立ち、高橋代表が、10月25日に通知された文部科学省の「不登校児童生徒への

# 被災者へ義援金12万円余

## 三本木・三峰庄 入館者らから募金

大崎市三本木新沼の豆坂温泉「三峰荘」(早坂透代表取締役)は10月28日、台風19号被災地に向けた義援金として12万19円をNPO法人大崎タイムス福祉部に寄託した。写真。

善意金は、福祉などに対する募金として施設フロントに置いた瓶で2013年から入館者らから募った。今回の台風で三本木地域な



年賀はがきの販売を開始(古川郵便局)

三峰荘は、今回の台風で避難所に身を寄せた被災者の入浴を受け入れたほか、13年には



善意ありがとう  
=NPO法人大崎タイムス福祉部=

東日本大震災の復興支援にと6万円余りを寄せている。早坂代表取締役(62)は「多くの人たちから寄せられた善意を有効に活用してほしい」と期待を込めていた。

# 七拍

警察犬が活動を実演し、子どもらと触れ合った



警察犬との触れ  
「オーマンオリンピ  
官 署員が飼育した犬

## 子どもの不登校考える 川

### 千葉さん(岩出山)招き講演や座談会 古

講演する千葉さん



「不登校を考える親の会」が16日、大崎市図書館2階研修室で開かれた。教育活動などに携わる同市岩出山の千葉百華さんの(22)による講演と座談会を通して、子どもの不登校について理解を深めた。同会は、大崎市に子

どもの居場所を作る「フリースペース」設立を目指す市民グループ「大崎不登校を考える会」(高橋雅道代表)が主催。今回で5回目。約20人が参加した。

千葉さんは岩手県奥州市生まれ。宮城教育大を卒業し、ことし3月、岩出山に移住。任意団体Zasso代表や地域支援コーディネーター、学童保育スタッフなどを兼任している。

千葉さんは「一人ひとりが生まれた意味がある。子どもの立場として伝えられること」と題して講演。3歳で両親が離婚し、小中学生のときにドメスティックバイオレンス(DV)や育児放棄を受けた経験語り、「家庭環境を周囲に悟られたくない、良い子と思われたいと明るく元気に生きてきた。結果的に、その思いや考えが自分を一番苦しめていた」と話した。

また、学生時代にさまざまなボランティア活動を通じ、約3000人を超える中高生の悩みなどに耳を傾けた経験から、「明るく元気に病の子が多い。〇〇でいなければならぬ」という思いにとらわれている」と指摘。

原因として「教師を目指す人は真面目で優等生が多く、そのような人間を求めてしまう。先生同士の間関係、多忙ゆえに生徒の話を聞いた。

聞く時間がない、スクールカーストなどの学校環境などがあるのでは」と分析した。参加者は、千葉さんの話熱心に耳を傾けたり、質問したりしていた。



## へう張りやぎ 復興頑張り

「ぎゅっとマルシェ」22日古川。日用品や子ども服などさまざまな品を集めたフリーマーケット「ぎゅっとマルシェ」は22日午前10時から、大崎市古川沢田の旧わ

んばく保育園で開かれる。入場無料。フリーマーケットのほか、ハンドメイドアクセサリーやスイーツストラップ、ハーバリウム、メディカルアロマといった子どもと一緒に楽しめるワークショップ

ヨップブース、フードドリンクや焼き菓子、ベーカリーカフェなどの飲食ブースもある。午後3時まで。駐車場は、古川自動車学校奥の砂利駐車場を利用できる。問い合わせは主宰の遠藤智美さん

その上で「自分を分析し、向き合い、思いを吐き出し、行動する。このサイクルを通して『どんな自分でもいい』と思えた」と、「自分自身を知り、本当の思いに気づき、行動してい

きゅっとマルシェ  
22日古川  
日用品や子ども服などさまざまな品を集めたフリーマーケット「ぎゅっとマルシェ」は22日午前10時から、大崎市古川沢田の旧わ

今日の天気 6月18日(火) はれ ☁️ 曇り 雨 ❄️ 雪 仙台管区気象台 17日 AM11時発表

<p><b>東部</b></p> <p>のち 時々</p> <p>降水確率 午前 0% 午後 0%</p> <p>気温 最高 23℃ 最低 11℃ (古川)</p>	<p><b>西部</b></p> <p>のち 時々</p> <p>降水確率 午前 0% 午後 0%</p> <p>気温 最高 24℃ 最低 11℃ (白石)</p>
--	--

16日古川の気温 最高 21.9℃ / 最低 15.3

電話 080-030334-0972。メール satomo1018ctm@gmail.com

# 不登校について考える 大崎

## 体験談や座談会で情報共有

大崎市にフリースペ  
ース設立を目指す市民  
グループ「大崎 不登  
校を考える会」(高橋  
雅道代表)は14日、市  
図書館研修室で3回目  
の会を開いた。参加者  
たちは不登校について  
の講演や座談会を通じ  
て、情報や考えを共有  
した。

この日は、登米市  
の不登校を考える会  
「ほっとスペースわか  
り」の佐藤和枝代表  
(54)が、「不登校を振  
り返って今だから見え  
ること」つながること  
の大切さ」と題して  
講演。佐藤代表は結婚  
して間もなく摂食障害  
を患い、病気が完治す  
るころ、当時小学5年  
生の長男と3年生の長  
女が不登校になった。

講演では、不登校親  
の会に参加したり、松  
島町のフリースクール  
を利用したりして子ど  
も向き合った体験を  
語り、「つらさや不安を  
吐き出せる場所や仲間  
がいたから乗り越えら  
れた」と振り返った。そ  
の上で「現在、子ども  
の不登校で苦しんでい  
る人は自分を責めない  
でほしい。一人で抱え  
込まないで」と訴えた。

このほか、ほっとス  
ペースわかりの活動内  
容を紹介。子どもの居  
場所をつくる「すずね  
ハウス」で自由創作や  
自然体験、そば打ち体  
験などを行っているこ  
とを話し、「子どもが  
安心して居られる場所  
をつくることで可能性  
が広がり、コミュニケ  
ーションがとれるよう  
になる」と述べた。

講演に先立ち、高橋  
代表が現在全国で20万  
人近くの不登校児童生  
徒がいる現状や、今後、  
県北で連携した団体設  
立を目指すことなどを  
話した。



講演する「ほっとスペースわか」の佐藤代  
表

宮城県警第一回警察  
官A(大卒程度)採用  
試験の応募締め切りが  
19日に迫った。本年  
度『売手市場』が主な  
から同職種  
の試験を年  
2回とし、  
今回で全体  
の約8割を  
採用予定。

# 若者 迫る

以下に減った。担当者  
は「少子化と、民間企  
業の採用で学生優位の  
要因」と分  
析。試験回  
数増にとど  
まらず、東  
北地方各県  
警と併願可

2学科に18人精進誓う  
県大崎高技専で入学式  
率100%。及川  
校で10日、入学式が行  
われ、電気科7人、木  
の家づくり科11人の合  
わせて18人が入学した。  
訓練期間は、電気科

# 出場 開幕

一芳校長は「基礎を着  
実に習得し、社会で活  
躍できる土台を築いて  
ほしい」と式辞を述べ  
た。

の2019年度シーズ ンが14日、開幕した。 還暦・古希春季大会 代表決定リーグ戦の開	気仙沼フィッシャーズ ▽第2試合 オール石巻	014100 6 120020 5	塩釜野球クラブ	00010 1 4321X 10	宮城ドリームズ ▽第2試合	00010 1 4321X 10	ボッケナインズシニア 7戦3試合
--	------------------------------	----------------------	---------	---------------------	------------------	---------------------	---------------------

加美町中新田パッハ  
ホールは、同ホールで  
開かれる高泉淳子さん  
俳優・演出家、大崎  
市出身の主演の舞台  
「Perfoeman  
ce in my pa  
ge」芝居とジャズと  
登場人物」(5月12  
日午後3時開演)のペ  
アチケットを大崎タイ  
ムス購読者5人にプレ  
ゼントする。公演は高  
泉さんの芸歴35周年記  
念企画。ジャズの生演  
奏に合わせて歌と芝  
居、トークを繰り広げ  
る。